## 宅地造成又は特定盛土等に関する工事の許可申請書(記入例)

第 12 条第 1 項 )							※手	数料欄	
宅地造成及び特定盛土等規制法 【第 30 条第1項】の規定により、許可を									
申請	申請します。								
	年 月 日								
豊	豊田市長 様								
申請者 氏名 株式会社豊田開発									
				代表取締役社長 豊田 太郎					
			愛知県豊田市〇〇町〇〇 株式会社豊田開発						
1	工事主住所氏名 (法人役員住所氏	代表取締役社長 豊田 一郎 (愛知県豊田市○○町○○ 取締役 豊田 二郎)							
	(12) (12) (12)	(愛知県豊田市○○町○○ 取締役 豊田 三郎)							
2	設計者住房	愛知県豊田市○○町○○ 株式会社豊田設計 代表取締役社長 豊田 花子							
3	工事施行者住	愛知県豊田市〇〇町〇〇 株式会社豊田建設							
	1 7 %E   7 L	代表取締役社長 豊田 太郎							
4	土地の所在地別	愛知県豊田市○○町○○、□□の一部   (緯度:△△度△△分△△秒 、経度:△△度△△分△△秒)						,)	
5	土地の	(福度: △△度△△分△△杪 、							
6	工事着手前の土地	農地						= '	
7	工事完了後のこ	宅地 (建築物あり)							
8	盛土のタ	平地盛土 腹付け盛士 谷埋め盛士							
9	土地の	地 形	渓流等への該当 有 無						
	イ 盛土又は切	土の高さ	000.00 x-hn						
	ロ 盛土又は切		〇〇 〇 平方メートル						
	土地の	面 積	盛土	_		000.00	_	<b>ラメート</b> ル	
	ハ 盛土又は切	土の土量	切土			000.00	$\overline{}$	ラメート	
			番号		構造	高 さ		延長	$\neq$
			1		プレキャスト L 型	1.2 メー	<del>\                                    </del>	) x - 1 / 1	レ
	二擁	壁			擁壁				
							$\overline{}$		
									1
10			番号		種 類	高さ		延 長	
ェー	ホー崖面崩壊り	上山松凯				メー	トル	メートル	レ
	小 崖 囲 朋 塚 Þ	7 止 旭 政					7		
事									1
の			番号		種 類	内法寸法	去	延長	$_{\lambda}$
			1		U 型側溝	30 セ		) メートル	レ
概	へ 排 水	施設			- 11/01/7	メー	トル	-	
要									$\bigvee$
	) "	# a -b VI		1.34	4 - 64 04 - 10 - 24			$\overline{}$	_ `
	ト崖面の保護	コンクリート造の擁壁で保護						-	
	チ崖面以外の保護の保護の		例1) 崖とは反対方向に排水勾配を設定 例2) のり面縁化						
			例1) 工事区域外周に H=1.8m の侵入防止柵を設置						
	リ 工事中の危の ための								
		) た め の 措 置 例2) 工事車両の出入口に、ガードマンを配置し交通整理 そ の 他 の 措 置 なし							
	ル 工事着手予	)月()(日							
	ヲ 工事完了予		令和○年○月○○日						
	ワ エ 程 の 概 要 別紙工程表のとおり								Ŧ
11	11 豊田市開発事業に係る手続等に関する条例承認済(令和○年								E
	その他必要	な事項	〇月〇日	月○日 豊開調発第○号)					$\dagger$
	※受付欄	※決	裁欄	*	許可に当たつて付	した条件	※許可	可番号欄	
年 月 日							年	月 日	
第   号							第	号	
L	T /2						KPK A		

## <留意事項>

該当する条文に〇印

12 条 1 項: 宅地造成等工事規制区域 30 条 1 項: 特定盛土等規制区域

法人であるときは、当該法人の名称及び代表 者の氏名を記入(注2)

法人であるときは、当該法人の名称及び代表 者の氏名のほか、役員の住所氏名を記入(注 2、注3)

役員:業務を執行する社員、取締役、執行役又 はこれらに準ずる者

法人であるときは、当該法人の名称及び代表 者の氏名を記入(注2)

資格を有する者の設計によらなければならな い工事を含むときは、氏名の横に○印(注4)

法人であるときは、当該法人の名称及び代表 者の氏名を記入(注2)

原則未定は不可。地方公共団体が行う工事等で工事施行者が未定の段階で許可を得る必要があるなど、やむを得ない理由がある場合に限り、後で定まってから届け出(注5)

代表地点の緯度及び経度を世界測地系に従っ て測量し、小数点以下第一位まで記入(注6)

宅地、農地、採草放牧地、森林、公共施設用地 のうち該当するものを記入

宅地、農地、採草放牧地、森林、公共施設用地 のうち該当するもの及び建築物等の建築の有 無等の具体的な内容を記入

該当する盛土のタイプに〇印(注7)

①平地盛土: 勾配 1/10 以下の平坦地で行われる盛土で谷埋め盛土に該当しない盛土

②腹付け盛土: 勾配 1/10 超の傾斜地盤上で行われる盛土で谷埋め盛土に該当しない盛土 ③谷埋め盛土: 谷や沢を埋め立てて行う盛土 盛土がない場合は斜線

渓流等への該当の有無に○印(注8) 渓流等の詳細については「許可申請の手引」 「審査基準」参照

高さは見かけ高さ(計画地盤高と擁壁前面地盤高の差)を記入 該当ない場合は斜線

高さは見かけ高さ(計画地盤高と擁壁前面地盤高の差)を記入 該当ない場合は斜線

該当ない場合は斜線

工事の工程が分かる工程表等を添付

宅地造成又は特定盛土等に関する工事を施工 することについて他の法令による許可、認可 等を要する場合においてのみ、その許可、認 可等の手続の状況を記入(注9)